

これからの富士宮を創る広報誌

So good!

創宮

- 「富士宮市」を語る
- らっこ オープン!
- 富士宮市は県下有数の茶どころ
- 富士宮の牛乳はおいしい

So good! vol.34



市制施行80周年記念式典の司会者
富士宮市出身 静岡朝日テレビアナウンサー

佐野伶莉さんと須藤秀忠市長が
「富士宮市」を語る

富士宮市出身 静岡朝日テレビアナウンサー

佐野伶莉さんと須藤秀忠市長が「富士宮市」を語る

須藤市長(以下「市長」) 富士宮市

は、今年、市制施行80周年を迎えます。佐野さんには、6月1日の記念式典の司会をお引き受けいただき、ありがとうございます。

私は、佐野さんが出演されている「とびっきり!静岡」をよく拝見しています。佐野さんは、番組では明るい表情とハキハキとした話し方で、見ていて元気をもらえますね。今日は私がインタビューをします。よろしくお願いします。

さっそくですが、佐野さんがアナ

ウンサーになったきっかけを教えてくださいいただけますか。

佐野伶莉さん(以下「佐野」) 私が最初にアナウンサーになりたいなと思ったのは、実は幼稚園児の頃なのです。その当時、朝の番組に、すごく好きなアナウンサーがいました、その方に手紙を出したら、お返事がきいなくて思ったのがきっかけですね。

市長◆ そうですか。そんなに小さい時からなりたいと思っていたのですね。ところで、佐野さんの

好きな言葉が「努力は一生、本番は一回、チャンスは一瞬」というのをホームページで拝見しました。これは、佐野さんが、アナウンサーとして仕事に臨む際の心構えなのだなと思いました。

佐野● そうですね。実はこの言葉はプロ野球、日本ハムファイターズのビッグボス、

新庄監督が監督就任会見の時にしゃっていい、良い言葉だと思いい、今年から取り入れてみました。

毎日、短い放送時間の中で、視聴者の皆さんにしっかりと情報をお届けできるよう、見えない部分での努力の積み重ねが大切だと思っています。本番は一回限りですので、努力の積み重ねを本番で発揮できればいいなと思っています。

市長◆ 富士宮市で育った佐野さんが、こうして活躍されていることは、とても誇らしいことですね。

今、佐野さんは、富士宮市を離れ、客観的に富士宮市を見ることができると思います。佐野さんにとって、富士宮市は、どのようなまちですか。思い出や思い入れのある場所などありますか。

佐野● そうですね。私は今、静岡市に住んでいますが、頻繁に富士宮市に帰ってきていて、多いときは週に一度は帰ってきます。

ふるさと富士宮市は、自分の中ですごく大切な場所です。好きな場所は、やはり浅間大社ですね。自宅からも近いのですし。お参りしたり、「こころざらよ」でソフトクリームを食べたり、周りを散策すると良い気分転換

になります。

また、仕事で行き詰まったときや悩みごとがあるときに、家族や友達に話を聞いてもらって、気持ちをリセットできる場所でもあります。

そして、新たな気持ちで仕事を頑張れる、そういうパワーをいつも富士宮市からもらっています。

市長◆ 素晴らしい。ふるさとというのはそういうところであってほしいですね。佐野さんの、ふるさとに対する強い思いを感じました。

また、気持ちをリセットできるとおっしゃっていましたが、幼い頃に過ごした場所に帰ってくると、初心を思い出すということもあるかもしれませんね。

佐野● はい。初心は大事ですね。職場で新入社員を目にすると、自分が入社した当時の心境を思い出し、とても新鮮な気持ちになります。

市長◆ ふるさととは、人を原点に返



佐野伶莉さんプロフィール

(出身地) 静岡県富士宮市宝町
(略歴) 富士宮市立貴船小学校—富士宮第三中学校—加藤学園暁秀高校—明治学院大学卒業
平成27年4月1日 静岡朝日テレビ入社
出演番組
「とびっきり!しずおか」(月~金) 夕方4:40~夜7:00
「とびっきり!サンデー」(日) 夕方4:00~
「スポーツパラダイス」(金) 夜11:15~



らせる働きがあるのかもしれないですね。私は、何といっても富士山の存在が大きいと思います。

石川啄木の歌に「ふるさとの山に向ひて言ふことなし ふるさとの山はありがたきかな」というのがあるのですが、まさにその気持ちですね。佐野さんにとって、富士山はどんな存在ですか。

佐野 ● 私にとっても、富士山はとても大きな存在ですね。富士宮市に住んでいたころは、富士山がある景色が当たり前になっていたので、大学に進学したときに富士宮市を離れてみて、改めて富士山の存在の大きさや、日本人にとっての宝なんだと感じました。富士宮市は、どこからでも富士山が見えますし、富士

山とともにあるまちということを感じましたね。

市長 ◆ ところで佐野さんは、焼き肉が好きだと伺ったのですが、富士宮市は、全国有数の酪農地帯で、高級な銘柄から人気の銘柄まで新鮮なお肉が市内のあちこちからで手に入ります。最近では、新型コロナウイルス感染症の影響もあつて、キャンプ人

気が高まり、多くのキャンパーが富士宮市を訪れ、バーベキューなどを楽しんでいます。富士山や朝霧高原などの雄大な自然とともに豊富な食材が人々を惹きつけていると思います。佐野さんは、キャンプはしますか。

佐野 ● 私にはキャンプの経験はありませんが、私の友達も、富士宮市にキャンプに来ることもあり、その時には、富士宮やきそばを差し入れしたりしました。自分のふるさとが、自然も豊かで、皆が来たいと思つてもらせる場所であることがとても嬉しいですね。私もこれからキャンプを始めたいと思います。

市長 ◆ ぜひ、富士宮市の大自然の中でキャンプを楽しんでください。

ところで、富士宮市は、最近、スイーツのまちともいわれています。富士宮市は、生乳や卵、イチゴ、サツマイモなどの一大産地で、スイーツに欠かせないこれらの食材を使ってスイーツを作るお店がどんどんできています。

佐野 ● 全国的に名の知れたお店もありますよね。新しいお店が増えていくことは感じていましたが、スイーツのまちというのは初めて知りました。

市長 ◆ そうですね、昔からのお店も、新しいお店から刺激を受けて、さらにおいしいスイーツを作ろうと頑張っています。佐野さんが住んでいた頃と比べ、まちの様子もかなり変わってきています。佐野さんは、富士宮市にどのようなまちになってほしいと思いますか。

佐野 ● まちが変化していくのは楽しいですね。先ほど、市長がおっしゃったように、このまちには富士山という素晴らしい自然がありますので、富士山の景観を守りながら、若い人たちも暮らしやすく進化し続けるまちであってほしいですね。

市長 ◆ 私は、富士宮市を、清流の美、空間の美、庭園の美がそろった、

品格があり誇りが持てる癒しの空間にしたいと思っています。これからも、佐野さんが自慢できるふるさととして、発展していけるよう、私も市政運営にまい進してまいります。

最後に、佐野さんのこれからの夢を聞かせていただけますか。

佐野 ● 私は、アナウンサーになって7年目になり、いつまでも若手の気分ではいられないと思つています。

アナウンサーとして、しっかりと県民の皆さんからの信頼を得られるようになって、静岡県で何が起きているかをタイムリーに分かりやすく伝えられるようになります。

昨年から「とびつきり！しずおか」は、平日と土曜日に加え、日曜日の放送も始まりました。これからも、ますます皆さんの身近な存在となれるよう頑張っていきたいと思つています。

市長 ◆ ますますのご活躍を楽しみにしています。これからも明るい笑顔で、私たちに元気を届けてください。今日は、ありがとうございます。

※4月20日に実施した対談は、新型コロナウイルス感染症対策のため、マスク着用で行いました。

富士宮市立児童館

らっこ オープン！



令和4年5月7日、待望の新しい児童館「らっこ」がオープンしました。子どもの「居場所」、子どもの育ちに必要「遊びの場」、子育て支援の拠点として、子どもたちや子育て世代の皆さんに親しまれる施設を目指します。



愛称「らっこ」を応募した
望月優羽^{ゆう}さん(左側)

愛称には、「子どもたちが楽しめ、子育てが楽になる」という期待が込められています。

惜しくも愛称には採用されませんでした

優秀賞「さくら」を応募した
佐々木理^り約^あさん(中央)

優秀賞「くるら」を応募した
森嶋里^り仁^{ひと}さん(右側)



▲約600冊の児童書や絵本をそろえた多目的スペース
富士宮産のひのきで作られた椅子とテーブルで、優しいぬくもりに包まれて読書を楽しむことができます。



▲寄附をしていただいた皆様

- ・卓球台一式と図書
富士宮市PTA連絡協議会会長 朝日康典様(中央)
- ・富士ひのきの滑り台
富士宮木材協同組合 理事長 勝又重政様(右側)
- ・現金20万円
富士宮市子ども・子育て会議元委員 伊藤洋子様



▲併設されている子育て支援センターおおみや
ママやパパ、祖父母が子育ての悩みを相談することができます。



▲吹き抜けで開放感のある遊戯室
やわらかい素材でできた室内運動用具や、ボードゲーム、トランプ、オセロなどのたくさんの遊具やおもちゃがあります。



▲児童館東側にある若の宮軍人墓地
樹木の整理やプランターを置くなど景観を明るくしました。



▲児童館南側の道路
道路を広げ交互通行にし、歩道を整備しました。

富士宮市は 県下有数の茶どころ



▲茶娘と共に茶葉を摘み取る茶業委員会の皆さん


杉田・大岩・小泉・高原
地区の見事な茶園！

富士宮市内では、杉田、大岩、小泉、高原地区などで52件の茶農家が年間418トンのお茶を生産しています。新茶シーズンに出回る一番茶は、秋に最後の茶葉を摘み取ったあと、次の春までたっぷりと栄養を蓄えるため、美味しいお茶になります。



▲機械による製茶



▲見事な手さばきで製茶をする富士宮茶手揉保存会
会長 鈴木英光さん(左)と長谷川博之さん(右)


富士宮産のお茶が
過去最高値に

4月18日に静岡茶市場で行われた新茶の初取引では、JAふじ伊豆が出荷した富士宮産の手もみ新茶が1キロ当たり196万8,000円の過去最高値を付きました。このお茶は、ヤマサン渡辺製茶が丹精を込めて丁寧な栽培をした「さえみどり」という品種です。



手もみ茶は、製茶までの工程をすべて手作業で行います



▲過去最高値で取引された手もみ茶「茶寿」



▲競りでの商談成立後、手合わせをする関係者 土井貴代表(左) JAふじ伊豆松本さん(右)



▲玉串奉納をする土井貴代表

茶業界の発展を祈って

茶寿（108歳）にちなみ108万円に、東部8JAの合併や八十八夜などの意味を込めた88万8,000円を足した196万8,000円の過去最高値でこの手もみ新茶を仕入れたのは、杉田にある富士宮富士山製茶合同会社（土井貴代表）です。同社は、5月3日に富士山本宮浅間大社を訪れ、茶業界の発展を祈願しこのお茶を奉納しました。

おいしいお茶の淹れ方

- はじめに、人数分の湯香にお湯を注ぎます。
- 1人あたり、3〜5グラムの茶葉を急須に入れます。
- 湯呑に注いだお湯を、ゆっくり急須に注ぎます。
- 1分ほど、お茶の葉が開くのを待ちます。
- 一つの湯呑に10回以上になるように小刻みに注ぎます。



▲新茶で乾杯！



取材協力 堂ヶ谷戸製茶工場 ヤマサン渡辺製茶 富士宮富士山製茶合同会社 JA ふじ伊豆



富士宮の牛乳はおいしい



「おいしい富士宮産の牛乳を飲んでもらいたい」と地元の酪農家が集まり、平成28年に富士の国乳業株式会社が開業しました。

富士宮市と富士市の公立小中学校76校で約32,000人が飲んでいる「ふじのくに富士山ミルク」は、富士宮産100%の新鮮で良質な生乳のみを厳選したおいしい牛乳です。



▲80℃3分間の殺菌で安全とおいしさを追求します。



▲1日3回の品質検査を行い、乳質を徹底管理します。



▲関東生乳品質改善共励会（乳質コンテスト）で上位ランクの酪農家が生乳を提供します。



▲のむヨーグルトやPREMIUMヨーグルトなどの人気商品があります。